

一般社団法人 富田林青年会議所
2023年度 通常総会

Grow for ideal

～ 成長しよう、理想をかなえるために ～



日時 2023年1月23日（月）午後8:00より
場所 富田林市民会館 大会議室

※メンバー必携の冊子です。総会時には必ずご持参下さい。

JCI クリード

The Creed of Junior Chamber International

We Believe;

That faith in God gives meaning

and purpose to humanlife;

That the brotherhood of man

transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won

by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies human personality;and

That service to humanity is the best work of life.

(和訳) JCI クリード

我々はかく信じる：

「信仰は人生に意義と目的を与え

人類の同胞愛は国家の主権を超越し

正しい経済の発展は

自由経済社会を通じて最も良く達成され

政治は人によって左右されず法によって

運営されるべきものであり

人間の個性はこの世の至宝であり

人類への奉仕が人生最善の仕事である」

J C I M I S S I O N

To provide leadership
development opportunities
that empower young people
to create positive change.

(和訳) JCI ミッション
青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすため
にリーダーシップの開発と成長を提供する。

J C I V I S I O N

To be the foremost global network of young leaders.

(和訳) JCI ビジョン
青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

J C 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱 領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

総会資料目次

P. 3 2023年度通常総会次第

2022年度

P. 4	2022年度委員会構成
P. 5	2022年度出向者名簿
P. 6	2022年度理事長所感
P. 7～8	2022年度専務理事・副理事長所感
P. 9	2022年度事業報告表紙
P. 10～13	2022年度年間事業スケジュール
P. 14～17	2022年度所感及び事業報告
P. 18～21	2022年度収支決算報告
P. 22～23	2022年度貸借対照表
P. 24	備品台帳
P. 25	監事意見書
P. 26～28	通常総会議事録

2023年度

P. 29	2023年度基本方針及び事業計画書
P. 30～31	2023年度理事長所信
P. 32～33	2023年度専務理事・副理事長所信
P. 34～36	2023年度基本方針及び事業計画（案）
P. 37	2023年度収支予算（案）
P. 38	2023年度組織図（案）
P. 39	2023年度年間スケジュール（案）
P. 40	2023年度出向者名簿
P. 41～43	特別会員紹介

一般社団法人富田林青年会議所

2023年度通常総会式次第

日時: 2023年1月23日
場所: 富田林市市民会館 大会議室

8:00PM~9:00PM

理事長
担当副理事長
担当委員会
担当委員長
(タイムスケジュール記入)

上野公幹
松本翔太
総務広報
廣澤大士

1. 開会宣言
2. 国歌斉唱
3. JCソング斉唱
4. JCIクリード唱和
5. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和
6. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
7. プレジデンシャルリース及び理事長バッジ継承
8. 感謝状授与
9. 理事長挨拶
10. スポンサーJC祝辞
11. 来賓並びに特別会員紹介
12. 来賓祝辞
13. 新入会員認承証授与式
14. 報告事項
 - イ) 2022年度事業報告
 - ロ) 2022年度収支決算報告
 - ハ) 2022年度監事監査報告
15. 議長選出
16. 議事録作成人及び署名人指名
17. 出席者確認及び定足数確認
18. 審議事項
 - イ) 2022年度事業報告承認の件
 - ロ) 2022年度収支決算報告承認の件
 - ハ) 2022年度貸借対照表承認の件
 - ニ) 2023年度事業計画(案)並びに収支予算(案)及び組織図(案)承認の件
 - ホ) その他の件
19. 直前理事長挨拶
20. 監事講評
21. 万歳三唱
22. 閉会宣言

2022年度委員会構成

☆ 理事・役員等

理事長	☆ 美馬達哉			
直前理事長	☆ 村瀬喜久一郎			
副理事長	☆ 松本翔太	☆ 廣澤大士	☆ 佐藤謙次	☆ 田中成和
専務理事	☆ 平野雄利			

委員会	委員長	副委員長	委員	
広報WEB委員会	☆ 小池真理子	岩川健太郎	酒谷勇一郎	SAN HTOO
	木下力也	THIDA MYO SATT		
財務委員会	☆ 北村寿浩	田中佑季	今城雄飛	
企画・運営委員会	☆ 島田晃一	小原暢	川谷勇生	
花火・出店委員会	☆ 森井洸穂	上野公幹	和田真実	
	清水肇	土岐和昭		
監事	☆ 今城克久	☆ 伏見厚史		
じゃがいもクラブ	和田真実	川谷勇生		
新入会員	土岐和昭	THIDA MYO SATT		
卒業会員	和田真実	木下力也	土岐和昭	
退会者	森井洸穂	今城雄飛	小原暢	

2022年度出向者名簿

「大阪ブロック協議会」

イノベーション創出委員会	副委員長	小原 暢
イノベーション創出委員会	委員	和田 真実
イノベーション創出委員会	委員	今城 雄飛
インパクト大阪実現委員会	委員	松本 翔太

「河内地域」

河内地域合同事業実行委員会	委員長	SAN HT00
---------------	-----	----------

富田林市献血推進協議会		廣澤 大士
-------------	--	-------

所感

一般社団法人富田林青年会議所

第54代理事長 美馬 達哉

本年度は、富田林青年会議所のこれまでのスタイルを大きく変化させる一年と致しました。

各委員会に分けたものの、一つの大きな目標「とんさい」に向かってメンバー全員で同じビジョンを持ち、成功させるための委員会としました。

当初の目標では、3,000人程度の地域住民の皆様にご来場頂ければ大成功だと考えていたところ、予想を遥かに上回る約5,000人の皆様にご来場頂きました。その中でも多くの子供たちの笑顔を創れたことが、理事長として、また富田林に住む一人の大人として本当に嬉しく思います。

正直申しまして、全てのことが順風満帆であったわけではございませんでした。

従来スタイルではなく、決して多いとは言えない23人のメンバーでこの規模のお祭りを開催することに、理事メンバーは多大なプレッシャーを感じていたことだと存じます。そういった中、試行錯誤しながら進めていくうちに、たくさんの地域の団体・企業・個人の皆様にご協力頂け、「とんさい」を創る仲間も徐々に増えていき、大阪府にも初めてご後援頂け、当日のフィナーレを飾る花火時には、富田林警察署の方にも交通整備でご協力頂くことが出来ました。

私の本年度の思いとしまして、もっともっと地域に貢献し、たくさんの地域住民の方に喜んで頂ける団体にしたいという強い思いがありました。

しかし、人的資源など全ての面において弊会だけでは出来ることも限られていました。人数の少ない弱小LOMでは大きなことが出来ないという結論に至るのがほとんどですが、私は全くそうとは考えておりませんでした。

何か大きなビジョンを掲げ、本当に街のためになることであれば、他団体や行政・市民の方にご協力頂け、大きなモノを創れるということを今回証明出来たと思います。

上記で記述させて頂いた中で大きなことをすれば良いのかと捉える方もいらっしゃるかもしれませんが、大きなことをすることが正しいことと述べたいわけではなく、大きなことも出来るという可能性を広げることが、今後の富田林青年会議所にとって大きなプラスになると考えております。

そして、誰かが無理につくるものではなく、青年会議所が掲げる奉仕・修練・友情とはそのような大きなビジョンに向かって歩いている中にあると私は考えております。

結びとなりますが、多大なご協力頂きました先輩諸兄姉の皆様方、また行政の皆様を始めとする「とんさい」に関わって頂きました全ての皆様方に、感謝申し上げます。

そして、最後まで成功すると信じ、共にこの「とんさい」を創って頂いたメンバーの皆様方を心より誇りに思うと共に感謝申し上げます。

一年間、誠にありがとうございました。

所感

専務理事 平野 雄利

2022年度、美馬理事長のもと専務理事として一年間活動させていただきました。この役職を受け、今まで知らなかったことなどを勉強でき経験させていただいた一年でした。

今後のJC活動ではこの一年の経験を活かして活動していく所存です。

経験も浅く未熟者の私が一年間専務としての任務を全うできたのは、美馬理事長はじめメンバーの皆様に協力していただき、そして支えていただいたからです。本当にありがとうございます。

企画・運営委員会担当副理事長 松本翔太

本年度は、美馬理事長のもと副理事長として1年間活動させていただきました。先輩方のアドバイスをもとに委員会が円滑に運営されているかなど副理事長としての目線で1年間活動をして参りました。この経験を生かして来年は今後を見据えたメンバーの育成ができる環境作りに協力していきたいと思います。コロナ禍の中、大規模事業・例会開催や委員会運営に苦勞した1年でしたが、2022年度を無事に終えることができたのもみなさまのご協力のおかげだと確信しております。1年間本当にありがとうございました。

財務委員会担当副理事長 廣澤 大士

メンバー自身が楽しい、あるいは意義があると思って活動に参加していないのではないか。担当した一人の委員長に負担をすべて押し付けて、他の理事は文句を言うだけという運営方法は健全で持続可能か。という問題意識が前提としてあって、今回、1年に一度だけ、大きなイベントを、みんなで楽しみながら創ろう。というのが、今年度の富田林青年会議所の方針であったと思う。そのために、イベント実現のために必要な仕事を各委員会に割り振るという方法を使った。財務委員会に対しては、「財務」という仕事を割り振られたのであるが、この仕事を委員会に所属する各メンバーが楽しみながら、あるいは意義を感じながらできたかどうか、という点では課題が残ると思う。

もちろん初めての事業であって、想定していない様々な問題を一つ一つ解決しながらの運営であったため、今、何をやればいいのか、どういう状態であれば、最終的に任された仕事を全うできるのかということが、わからず、悩む部分は多かった。しかし、それでも、本年度の方針に照らし、常に多くのメンバーを巻き込む取り組みを行い続けるべきであった。この経験を今後の活動に活かしたいと思う。

協賛金募集については、多くのメンバーにご協力いただき、結果、目標金額に近い金額を集めることができました。ご協力いただいたメンバーの皆様に感謝します。

花火出店委員会担当副理事長 田中 成和

2022年度は美馬理事長のもと花火出店委員会担当副理事長として1年間活動させていただきました。

初めて副理事長という役職を任されたこと、また今年度は「とんさい」という事業に向けて活動を行っていくという事で、過去の内容を参考にできないこともあり、理事メンバーや委員会内で一から手探りでとんさいに向けて進めてきました。前例がないことに向けて物事を進めていくという大変貴重な経験を積ませて頂きました。花火出店委員会では11月定例会の「とんさい」に向けてお祭りを盛り上げるための花火の打ち上げの実施、また来場者に楽しんでいただきお祭りを活気づけるために飲食店の手配を行いました。他には3月・6月・10月定例会を担当し「とんさい」向けの報告会を行いました。

副理事長という立場で1年間を活動するにあたり、非常に苦しい時もありましたが、先輩方や理事メンバー、現役メンバーの皆様のご協力のおかげで何とか「とんさい」を実現することができ、地域の笑顔を作ることができました。同じ目的を持った仲間と事業を成功できたことを誇りに思います。

今年度の経験を後のJC活動や自身のために活かしてまいりたいと思います。1年間本当にありがとうございました。

広報WEB委員会担当副理事長 佐藤 謙次

2022年度、美馬達哉理事長の下で広報WEB委員会担当副理事長を経験させていただきました。本年度はメンバー全員で1つの事業を開催するという、あまり例がない目標で始まり、当初は戸惑いや不安が一杯でしたが美馬理事長のブレない姿勢や、メンバーが日に日に一致団結をして事業を成功させる気持ちが強くなり、無事に「とんさい」が事故やトラブルがなく開催でき、その中心メンバーの中にいた事を誇りに思います。

広報WEB委員会では、事業の目的でもある地域の子供達が一人でも多く来場いただく為に、チラシ配布やSNSを駆使して予想以上の来場者にお越し頂き、その方々が事故なく無事に笑顔でイベントを楽しんで頂いた事が、広報WEB委員会としては達成の一つであると思います。

沢山の新たな経験と勉強をさせて頂いた今年度の学びを今後の自身のJC活動や仕事、富田林JCのための活動に活かしてまいりたいと思います。

理事メンバー、委員メンバーの皆様、共に活動してくれた小池委員長をはじめとする委員会のメンバーの方々、本当にありがとうございました。

一般社団法人富田林青年会議所

2022年度

事業報告

自2022年 1月 1日
至2022年12月31日

月	総 会	理 事 会	例 会
一 月	28日(金) PM7:00 すばるホール (小ホール) 通常総会	19日(水) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. JCカップ卒業記念サッカー大会について 3. 2月度例会について 4. 2022年度総会について	
二 月		8日(火) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 4月度例会について 3. 3月度例会について 4. JCカップ卒業記念サッカー大会について	18日(金) PM7:30 2月度例会 富田林納税協会ビル2階 とんさい報告会
三 月		8日(火) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 5月度例会について 3. 新入会員承認の件 4. 4月度例会について 5. 3月度例会について	16日(金) PM7:30 3月度例会 富田林納税協会ビル2階 とんさい報告会

月	総 会	理 事 会	例 会
四 月		7日(火) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 6月度例会について	26日(火) PM19:00 4月度例会 富田林納税協会ビル2階 とんさい報告会
五 月		11日(水) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 7月度例会について 3. JC吹奏楽フェスティバルについて 4. 河内地域合同親睦事業について 5. 6月度例会について	14日(土) PM0:00 5月度例会 アクトランドYAO 河内地域合同親睦事業
六 月		8日(水) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 8月度OB合同例会について 3. 河内地域合同例会について 4. JC吹奏楽フェスティバルについて 5. 7月度例会について 6. 河内地域合同親睦事業について	15日(水) PM7:00 6月度例会 富田林納税協会ビル2階 とんさい報告会

月	総 会	理 事 会	例 会
七 月		6日(水) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 10月度例会について 3. 8月度OB合同例会について 4. 7月度例会について 5. JC吹奏楽フェスティバルについて	24日(日) AM10:00 7月度例会 石川河川敷 清掃・現地調査
八 月		9日(火) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 12月度例会(忘年例会及び卒業式))について 3. 10月度例会について	25日(木) PM7:00 8月度OB合同例会 すばるホール(小ホール) 講師例会 及び とんさい報告会
九 月		8日(木) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項 1. 2022年度11月度例会について 2. 12月度例会(忘年例会及び卒業式))について 3. 10月度例会について 4. 9月度河内地域合同例会について	29日(木) PM6:30 9月度例会 すばるホール 河内地域合同例会
月	総 会	理 事 会	例 会

十 月		<p>7日(金) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 12月度例会(忘年例会及び卒業式)について 2. 2022年度11月度例会について 	<p>20日(木) PM7:00 10月度例会 富田林納税協会ビル2階 とんさい報告会</p>
十一 月		<p>11日(金) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 12月度例会(忘年例会及び卒業式)について 	<p>5日(土) AM11:00 11月度例会 石川桜づつみ公園 とんさい</p>
十二 月		<p>13日(火) PM8:00 事務局 討議、協議、審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 退会者について 	<p>9日(金) PM7:30 12月度例会 すばるホール(会議室3) 忘年例会</p>

2022年度 所感及び事業計画

委員会名	企画運営委員会	委員長 島田晃一
<p>所感</p> <p>まずは、1年間通して準備してきた“とんさい”が大きなトラブルもなく無事に開催できたこと。そして多くの地域の皆様にお越し頂き、たくさんの笑顔を見せていただいた事をうれしく思います。美馬理事長をはじめ各委員会担当副理事長、委員長、そしてメンバーの協力なくしてはこのような結果を得ることはできなかったと思います。</p> <p>企画運営委員会としてはイベント申請関係を担当させて頂いていたので、他の委員会と連携が特に必要であったと感じています。副理事長、委員長には色々協力頂き感謝しております。縁日ブースは OB やメンバーの友人等の協力もあり、たくさんの子供たちの笑顔を創ることが出来た事。舞台イベントに関しても普段中々見ることが出来ないプロレスや、クオリティの高いコスプレ、ダンスイベントもたくさんの子供たちが1つの作品を創り上げていた事に触れることができ、感動させて頂きました。</p> <p>今回の事業を通してゼロから物事を創り上げることがどれだけ大変な事かを学ばせて頂いたと同時に、メンバー全員で協力することでこれだけ大きな事業も成功に導くことが出来る事を実感しました。この体験が JC 活動の意義に繋がると感じております。本当に1年間ありがとうございました。</p>		
事業報告		決算額
<p>1. 各委員会と連携したイベントの開催。</p> <p>2. 祭りでのイベント企画 (2021年12月)富田林土木事務所に花火出店委員会と共に相談に向かう、花火打ち上げには問題なしとの回答を得る。大阪府に対して公園施設占有許可を取り、石川河川公園管理事務所に対しては行為許可をとる必要がある。 (2022年1月)イベント内容の企画、会場MAPレイアウトの素案作成。 (2022年3月)イベントパフォーマー依頼、選定。 (2022年5月)富田林土木事務所との協議、申請資料の作成開始。 (2022年7月)祭り当日のスケジュール管理、イベントスケジュールの作成。 (2022年8月)イベントパフォーマー募集のチラシを配布、SNSにて拡散。 (2022年9月)石川河川公園指定管理者と駐車場について打ち合わせ。</p> <p>3. 4月度例会 (日時)4月26日(火) (場所)富田林納税協会ビル2階 (内容)とんさい報告会</p> <p>4. 7月度例会の開催 (日時)7月24日(日) (場所)石川河川敷 (内容)清掃・現地調査</p> <p>4. ホームページ・フェイスブック等の更新</p> <p>5. JCカップサッカー大会への協力</p> <p>6. JC吹奏楽フェスティバルへの協力</p> <p>7. すばるキッズフェスティバルへの協力</p> <p>8. じゃがいもクラブへの協力</p> <p>9. 大阪ブロック協議会への協力</p> <p>10. 河内地域合同事業実行委員会への協力</p>		<p>2,010,400円</p> <p>3,500円</p> <p>0円</p>
		2,013,900円

2022年度 所感及び事業計画

委員会名	財務委員会	委員長 北村寿浩
<p>所感</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染拡大もありましたが、理事会や委員会を対面にて実施することができました。本年度の壮大なイベント「とんさい」を開催するにあたり、当委員会は財務を役目として活動して参りました。想像を超える壮大な役目であり、どのように運営したら良いか躊躇することが多かったです。「とんさい」を開催するにあたり、正会員や特別会員と様々な議論をできたことは私自身の視野の狭さを痛感したと同時に、視野の拡大や考えの深みを得る機会となりました。何事もなく「とんさい」を開催できた今日、達成感と充実感を味わうこととなりました。来場された市民の皆様、ご協賛して頂いた企業様・特別会員の皆様に深く感謝申し上げます。</p> <p>1月度総会、12月度忘年例会・褒賞では年間の事業として式典の要素が大きく、円滑な運営において、不十分な点などがあつたかと思いますが、廣澤副理事長をはじめ、LOMメンバーに支えて頂きながら終えることができました。</p> <p>1年間、誠にありがとうございました。</p>		
事業報告		決算額
<p>1. 各委員会と連携したイベントの開催。</p> <p>2. 資金集め 方法①広報活動及び資金提供のお願い 方法②企業・団体への挨拶 方法③寄付箱の設置 1台 1500～2000円 方法④募金等</p> <p>9月～11月 4委員会と合同で広報活動</p> <p>9月～11月 4委員会と合同で資金提供依頼</p> <p>3. 財務処理・事務処理</p> <p>9月～11月 集めた資金の合計及び収支の確認</p> <p>10月 イベント保険の手続き</p> <p>11月 資金提供企業・団体への御礼</p> <p>12月 収支報告書の作成</p> <p>4. 1月度通常総会の開催 (日時) 2022年1月28日(金) 開会 7:00PM 終了 9:00PM (場所) すばるホール 小ホール (内容) 2022年度通常総会</p> <p>5. 12月度忘年例会の開催 (日時) 2022年12月9日(金) 開会 7:30PM 終了 8:25PM (場所) すばるホール 会議室3 (内容) 2022年度忘年例会</p> <p>6. 12月度表彰・褒賞の開催 (日時) 2022年12月9日(金) 開会 7:30PM 終了 8:25PM (場所) すばるホール 会議室3 (内容) 2022年度表彰・褒賞</p> <p>7. ホームページ・フェイスブック等の更新</p> <p>8. JCカップサッカー大会への協力</p> <p>9. JC吹奏楽フェスティバルへの協力</p> <p>10. すばるキッズフェスティバルへの協力</p> <p>11. じゃがいもクラブへの協力</p> <p>12. 大阪ブロック協議会への協力</p> <p>13. 河内地域合同事業実行委員会への協力</p>		<p>31,980円</p> <p>35,435円</p> <p>16,090円</p> <p>19,720円</p> <p>36,000円</p>
		139,225円

2022年度 所感及び事業報告

委員会名	花火出店委員会	上野 公幹 副委員長
<p>所感</p> <p>2022年は“とんさい”という大事業に向け、全委員会が連携しながら企画運営を行う年となりました。私たち花火出店委員会は皆様のご協力のおかげをもちまして、無事花火を打ち上げることができました。何分初めて経験することも多く、幾度にも渡り計画の修正・変更をさせていただきながらではありましたが、結果としては来場者に笑顔を届けることができたのかなと思います。新型コロナウイルス感染症が終息したわけではございませんが、今後とも子供たちが未来に夢を持てる、そんな街を目指して活動していきたいと思えます。</p> <p>最後になりましたが、本事業にご協力いただきましたすべての方に感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。</p>		
事業報告		決算額
1. 各委員会と連携した拡大活動		
2. 3月度定例会の開催 (日時) 2022年3月16日(金) 19:30~21:00 (場所) 富田林納税協会ビル2F (内容) 報告会		3,500 円
3. 6月度定例会の開催 (日時) 2022年6月15日(水) 19:00~20:30 (場所) 富田林納税協会ビル2F (内容) 報告会		3,500 円
4. 10月度定例会の開催 (日時) 2022年10月20日(木) 19:00~21:30 (場所) 富田林納税協会ビル2F (内容) 報告会		3,500 円
4. 11月度定例会の開催 (日時) 2022年11月5日(土) 11:00~19:30 (場所) 石川桜つつみ公園 (内容) とんさい		341,788 円
5. ホームページ・フェイスブック等、SNSの更新		
6. 全ての事業・活動への協力		
		352,288 円

2022年度 所感及び事業報告

委員会名	広報WEB委員会	委員長 小池真理子
<p>所感</p> <p>富田林青年会議所でも類を見ない、1年通して1つの事業を目標に進んできた「とんさい」事業でしたが初開催にもかかわらず、多くの来場者の方々にお越しいただき、また事故や大きなクレームもなく終えたことを嬉しく思います。</p> <p>このとんさいイベントを通じて、一致団結し大きな目的に向かって邁進できた事、例年以上の「修練」「奉仕」「友情」を得ることができ美馬理事長はじめ、理事メンバー、委員メンバーの皆様には感謝申し上げます。</p> <p>広報WEB委員会としては、多くのお子様やご家族の方々にご来場いただき、皆様が安心安全にイベントを楽しんで頂けたことが何よりも成功の1つだと感じております。</p> <p>初開催につき色々反省点や後悔はありますが、大きなイベント開催の時には主催者側全員が情報共有と報連相を密にこなしていけばもっといいアイデアや対策が練られると思いましたが、つきましても、本当に大きなイベントを企画・開催に至るまで中心メンバーでいれた事が誇りに思います。本当に1年間ありがとうございました。</p>		
事業報告		決算額
<p>1. 各委員会と連携したイベントの開催。</p> <p>2. 「とんさい」事業について</p> <p>【広報の活動内容】</p> <p>2021年10月 富田林青年会議所Instagram開設</p> <p>2022年 3月 チラシ完成（協賛者向け）</p> <p>2022年 8月 とんさい特設HP完成 パフォーマーチラシ完成</p> <p>2022年 9月 チラシ完成（参加者向け） 4市町村役場、すばるホール、総合体育館、きらめき創造館、金剛公民館、 レインボーホール（9か所 100枚ずつ配布）</p> <p>2022年10月 4市町村小中高（36校、約14000枚配布） SNS広告開始（2週間前から2段階に分けて） Instagramに協賛企業、出店店舗紹介開始 会場周辺企業にチラシ配布 開場周辺住民にチラシ配布（お手紙を添えて）</p>		<p>229,340 円</p>
<p>3. 2月度例会 （日時）2月18日（金） （場所）富田林納税協会ビル2階 （内容）とんさい報告会</p>		<p>3,500 円</p>
<p>4. 8月度OB合同例会の開催 （日時）8月25日（木） （場所）すばるホール（小ホール） （内容）講師例会及びとんさい報告会</p> <p>5. ホームページ・フェイスブック等の更新</p> <p>6. JCカップサッカー大会への協力</p> <p>7. JC吹奏楽フェスティバルへの協力</p> <p>8. すばるキッズフェスティバルへの協力</p>		<p>20,100 円</p>
<p>9. じゃがいもクラブへの協力</p> <p>10. 大阪ブロック協議会への協力</p> <p>11. 河内地域合同事業実行委員会への協力</p>		<p>252,940 円</p>

2022年度会計決算報告書

収 支 決 算

自2022年 1月 1日
至2022年 12月31日
(単位：円)

一般社団法人富田林青年会議所

科 目	予 算 額	決 算 額	予算対比
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
正会員会費収入	2,850,000	2,625,000	225,000
新入会員会費収入	0	0	0
新入会員入会金収入	160,000	20,000	140,000
特別会員入会金収入	300,000	300,000	0
2. 雑収入			
雑収入	100,000	121,055	-21,055
3. JC基金繰入金			
	0	0	0
4. とんさい収入			
	0	3,129,748	-3,129,748
当期収入合計	3,410,000	6,195,803	-2,785,803
前期繰越収支差額	5,329,893	5,329,893	
収入合計	8,739,893	11,525,696	-2,785,803
II. 支出の部			
1. 負担金			
J C I 会費	25,000	38,272	-13,272
日本 J C 会費	155,000	145,000	10,000
国際協力資金	45,625	41,975	3,650
日本 J C 出向費	30,000	0	30,000
大阪ブロック会費	138,000	127,600	10,400
近畿地区会費	47,000	43,400	3,600
河内地域会費	75,000	50,000	25,000
機関誌購読料	75,000	67,250	7,750
2. 事務管理費			
借室料	600,000	600,000	0
給料	700,000	641,162	58,838
電話通信費	300,000	264,321	35,679
事務局光熱費	240,000	240,000	0
事務用品費	400,000	175,350	224,650
機器リース料	144,000	158,400	-14,400
会議等借室料	20,000	22,370	-2,370
新入会員諸費	24,000	4,940	19,060
法定福利費	3,000	1,887	1,113
雑費	250,000	494,423	-244,423
3. 渉外費			
	200,000	194,000	6,000
4. 事業費			
企画運営	350,000	3,500	346,500
広報WEB	200,000	132,360	67,640
花火出店	150,000	3,500	146,500
財務	100,000	66,940	33,060
ブース出展料	50,000	85,438	-35,438
JC吹奏楽フェスティバル	50,000	50,000	0
JCカップ	30,000	30,000	0
とんさい費用	0	3,343,313	-3,343,313
とんさい事業繰入金	930,000	3,715,051	0
5. 積立金繰入額			
55周年積立金	200,000	100,000	100,000
7. 予備費			
	200,000	200,000	0
当期支出合計	4,801,625	7,125,401	2,323,776
当期収支差額	△ 1,391,625	△ 929,598	462,027
次期繰越収支差額	3,938,268	4,400,295	461,987

事業名:とんさい

申請団体名:一般社団法人富田林青年会議所

本事業の収支予算については次のとおり計上しております。

※金額表示単位:

収入の部

(事業予算、寄付、入場料、助成金等について記入ください。)

項目	予算額	積算内訳	内訳金額
事業繰入金	342,923	富田林青年会議所事業予算より繰り入れ	
協賛金	2,755,000	市民、企業からの寄付金	
募金	103,048	飲食店等に設置した募金箱	
縁日収入	271,700		
合計	3,472,671		

支出の部

(会場費、人件費、移動費、事務諸経費等について記入ください。)

項目	予算額	積算内訳	内訳金額
花火代	280,000		
イベント	559,153	クイズ景品、縁日景品、ダンス講師謝礼等	
設備・設営	2,002,169	舞台、その他会場装飾費	
備品	164,982	募金箱、カラーコーン、規制線テープ、インカム賃料等	
警備・看護師	219,000	近畿ビルサービス株式会社・有限会社さくら総合警備保障	
保険	35,435		
広告費	211,932	チラシ・ポスター制作費、印刷代	
合計	3,472,671		

※このフォーマットの行が足りない場合は適宜増やしてお使いください。

収支差額:

0

2022年度会計決算報告書

財 産 目 録

一般社団法人 富田林青年会議所

2022年12月31日

資産の部	
科目	金額
流動資産	
現金	39,429
普通預金(三井住友銀行富田林支店) 口座番号 1299919	680,840
普通預金(三井住友銀行富田林支店) 口座番号	608,060
普通預金(りそな銀行富田林支店)	63,848
通常貯金(ゆうちょ銀行)	5,772
定期預金(三井住友銀行富田林支店) 口座番号 1296521	2,002,346
流動資産合計	3,400,295
固定資産	
保証金 富田林納税協会権利金	1,600,000
J C 債権 (社) 日本 J C	0
固定資産合計	1,600,000
合計	5,000,295

負債の部	
科目	金額
流動負債	
未払金	0
流動負債合計	0
固定負債	
周年引当金	600,000
固定負債合計	600,000
合計	600,000

2022年度正味財産増減明細書

一般社団法人 富田林青年会議所

自2022年 1月 1日

至2022年 12月31日

I 正味財産	
前年度繰越金	5,329,893
当期収支差額	-929,598
次期繰越金	4,400,295

一般社団法人 富田林青年会議所 貸借対照表

2022年12月31日現在(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【3,720,295】	【流動負債】	【0】
1.現金	39,429	未払金	0
2.普通預金	1,358,520	【固定負債】	【600,000】
3.定期預金	2,002,346	周年引当金	600,000
		負債の部合計	600,000
		正味財産の部	
【固定資産】	【1,600,000】	【正味財産】	【5,329,893】
富田林納税協会権利金	1,600,000	(当期繰越収支差額)	4,400,295
		正味財産の部合計	4,400,295
資産の部合計	5,000,295	負債及び正味財産の部合計	5,000,295

貸借対照表附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	なし				
	基本財産計				
特定資産					
	特定資産計	0	0	0	0

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
55周年積立金	500,000	100,000	0	0	600,000

備 品 台 帳

2022年12月31日現在

名 称	数	備 考
書庫	2	
机	2	
椅子	20	
書類棚	1	
J C 綱領旗	1	
J C リング旗	1	
J C ゴング	1	
旗立て	1	
腕章	38	
J C 旗	3	
国旗	2	
電話	1	
整理箱	5	
カメラ	1	
卓上プレート	30	
シュレッダー	1	
リボン (赤)	95	
リボン (白)	34	
複合機 (富士ゼロックス)	1	
ファクシミリ	1	(卒業生寄贈)
CDラジオカセット	2	(卒業生寄贈)
DVD カメラ	1	(卒業生寄贈)
整理棚		(卒業生寄贈)
エアーコンディショナー	2	(寄贈)
整理箱	1	(卒業生寄贈)
折りたたみ机	10	(寄贈)
プレジデントリーフ	1	(卒業生寄贈)
ポスト	1	(卒業生寄贈)
ホワイトボード	1	(卒業生寄贈)
デジタルカメラ	1	(卒業生寄贈)
プロジェクター	1	
プロジェクタースクリーン	1	
大容量ハードディスクドライブ	1	
ミーティングチェア	12	(卒業生寄贈)
パーソナルコンピューター	3	
プリンター (CANONN)	1	(卒業生寄贈)
冷蔵庫	1	
電子レンジ	1	
非接触体温計	1	(卒業生寄贈)

監 事 意 見 書

一般社団法人 富田林青年会議所

理 事 長 美馬 達哉 殿

2022年度、一般社団法人富田林青年会議所の事業報告書、収支決算書、
財産目録を監査せる結果、何れも適正且つ正確なることを認めます。

2023年 1月12日

一般社団法人富田林青年会議所

監 事 伏見 厚史



監 事 今城 克久



一般社団法人富田林青年会議所
通常総会議事録

1. 総会の開催 2022年通常総会
1. 開会通知日の年月日 2022年 1月14日
及びその方法 文書を各会員に郵送
1. 開会日時 2021年 1月28日(金) 午後8時00分開会
1. 開会場所 すばるホール 小ホール
大阪府富田林市桜ヶ丘町2-8
1. 総会員数 21名
1. 出席した会員数 21名
内訳 本人出席 4名
書面による議決権行使 21名
1. 議長選出及び議事録作成人並びに議事録署名人指名

定刻、司会者は、総会の開会を宣言し本日の総会は定款に定める定足数を満たしたので、有効に成立する旨を告げた。

司会者は、定款第30条の規定に従い本日の議長に美馬達哉君を指名した。本人は、直ちに議長に就任し、議事録作成人に平野雄利君、署名人に廣澤大士君、北村寿浩君を指名し各本人いずれもこの件を承諾した。

1. 定足数確認

出席会員数 21名 この議決権数 21個

正会員数 21名 この議決権数 21個

1. 報告事項

(イ) 2021年度事業報告

司会が、本件について2021年度期事業報告を廣澤大士君に説明させる。

(ロ) 2021年度収支決算報告

司会が、本件について2021年度収支決算報告の説明を廣澤大士君に説明させる。

(ハ) 2021年度監事監査報告

司会が、本件について2021年度監事監査報告の説明を今城克久君に説明させる。

1. 審議事項

(イ) 2021年度通常総会議事録承認の件

議長が、議場に諮ったところ賛成多数をもって承認される。

(ロ) 2021年度事業報告承認の件

議長が、議場に諮ったところ全会員異議なく承認される。

(ハ) 2021年度収支決算報告承認の件

議長が、議場に諮ったところ全会員異議なく承認される。

(ニ) 2021年度貸借対照表承認の件

議長が、議場に諮ったところ全会員異議なく承認される。

(ホ) 2022年度事業計画(案)並びに収支予算(案)及び組織図(案)承認の件

議長が、本件について廣澤大士君に説明させる。

議場に諮ったところ全会員異議なく承認される。

(ヘ) その他の件

抹消

上記総会にかける経過並びに決定事項を記録した本議事録を作成し、
議長及び議事録作成人並びに議事録署名人は、次に署名捺印する。

議事録作成日 2022年 1月30日

一般社団法人富田林青年会議所

議長

美馬達哉



議事録作成人

平野雄利



議事録署名人

廣澤大士



議事録署名人

北村寿浩

一般社団法人富田林青年会議所

2023年度

基本方針及び事業計画書

自2023年 1月 1日
至2023年12月31日

所信

はじめに

1949年、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、青年会議所の活動は始まりました。近年においては世界的な感染症発生による経済面や活動制限が日常生活に多大な影響を及ぼしました。また緊迫した社会情勢など、見過ごすことのできない課題も多々あります。今、私たちは何を行えば良いのでしょうか？

問題とは、小さな問題が絡み合いより複雑になります。今私たちが行うべきことは社会における問題点を発見し、解決に向けた提案・行動を行える、そんな人財となり行動することが重要です。

会員拡大

私たちが理想とする「明るい豊かな社会」、これを1人では実現することはできません。多くの方に賛同いただき、ともに理想を目指すことで初めて実現が見えてきます。志を同じうする者を仲間とすることは青年会議所の活動の中でも極めて重要なものと言えます。また、青年会議所に所属できるのは20歳から40歳までです。青年会議所の活動を後世に引き継ぐためにも仲間となる会員の拡大は急務であることを共通認識として、各自拡大活動に励んでください。

ひとづくり

社会を形成するものは“人”です。人が集まることでコミュニティが生まれます。コミュニティをより良いものとするためには、理想をもって日々課題の解決に取り組むことが必要です。青年会議所に入会するメンバーには理想があるはずで、それを実現するためにも個々の成長は必要不可欠であり、その機会を提供することが富田林青年会議所の使命だと考えます。私を含め、すべてのメンバーが成長できたと感じられる1年にしましょう。

まちづくり

少子高齢化、人口減少、空家空地問題等、社会課題は沢山あります。また近年の感染症対策による行動制限により、青少年が経験を積む機会も減少しています。私たちは社会が抱える課題に真摯に向き合うとともに、未来を担う青少年に経験を積める場を提供できるよう、今年度も青少年育成事業を行います。

55周年について

2023年は一般社団法人富田林青年会議所創立55周年となります。これは偏に先輩諸兄姉の多大なるご尽力と社会貢献の結果に尽きるものといえます。言葉では55周年と簡単に発音できますが、現在のメンバーが生まれるよりもはるかに前から先輩諸兄姉が地域社会のために活動されていたと考えると歴史の深さを感じられ、尊敬や感謝の念に堪えま

せん。本来であれば盛大に式典を執り行うべきところ、現在のメンバー数、財務状況においては式典の開催は見送らざるを得ないことが残念でなりません。しかし、現役メンバーはこれまでの歴史を振り返るとともに、今後の VISION を考える節目の年として活動を行ってください。

結びに

私たちは考え続けなければなりません。

私たちは行動し続けなければなりません。

私たちは成長し続けなければなりません。

これからの社会を担う人財の一角である私たちが成長することは、延いては明るい豊かな社会の実現に貢献するものと確信しております。

2023 年スローガン

Grow for ideal ～成長しよう、理想を叶えるために～

一般社団法人富田林青年会議所
第 55 代理事長 上野 公幹

専務理事 北村 寿浩

本年度、上野理事長より、専務理事を仰せつかることになり、責任の重さを感じております。昨今、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経済活動に加え、社会活動も大きく影響を受けました。青年会議所の活動も同様に対面での会議の規制、時間の制限、コミュニケーションの機会の減少など大きな変化をもたらしました。しかしながら、青年会議所の活動はどのような状況でも歩みを止めることはなく、活動を展開していく責任があります。青年会議所としての責任を自覚し、専務として組織運営やJC活動に取り組みたいと考えております。

私は入会して日が浅く、私に務まるのかという不安もありますが、本年度の「Grow for ideal～成長しよう、理想を叶えるために～」のスローガンのもと、本年度の機会を私自身の成長のチャンスと思い、上野理事長、副理事長、LOMメンバーと協力しながら、責務を全うする所存です。1年間、何卒よろしくお願い致します。

総務室担当副理事長 松本翔太

2023年度、総務室担当副理事長へ選任していただき心より感謝申し上げます。上野理事長の元、他委員会と連携をはかり富田林JCがよりよいものになるためROM全体にしっかりと目を向けていき、円滑かつ活気があるROM運営を目指します。メンバー減少も大きな課題になっています。総務室担当副理事長という立場ではございますが、他の委員会等に積極的に協力し富田林JCがますます発展していくことを目指し全力で努力して参りますので、みなさまのご協力の程よろしくお願い申し上げます。

拡大室担当副理事長 田中 佑季

本年度、上野理事長のもと拡大室担当副理事長を拝命させていただきました。私自身、3回目の副理事長ということになります。また、2019年度理事長の経験を生かし活動して参りたいと思います。

担当する委員会は、サントゥー委員長が率います、拡大親睦委員会で会員拡大・親睦会・例会を行ってまいります。

会員拡大こそ楽しむものだと考えます。

同世代のメンバーが集う団体だからこそ、地域や企業で悩みを抱え壁にあたり、苦しんでいる仲間の気持ちを自分のことのように考えることができ、また同世代のメンバーの成功例を身近で感じ学ぶことができます。

会員拡大に繋がる親睦会や例会を委員会で考え、メンバー全員が一致団結できるように邁進して参りたいと思います。

理事長所信にも有ります。「Grow for ideal～成長しよう、理想を叶えるために～」の下、より良い青年会議所運動を目指して活動して参りたいと思います。

1年間よろしくお願い申し上げます。

事業室担当副理事長 佐藤謙次

本年度、上野理事長のもと事業室担当副理事長を仰せつかり、誠に光栄に存じます。昨年につき、副理事長を拝命させていただきました。これまでの JC 活動で培った経験を活かし、邁進してまいりたいと思います。

担当委員会は島田晃一委員長率いる事業委員会となります。理事長の掲げる所信「Grow for ideal～成長しよう、理想を叶えるために」を基にメンバーが一丸となり活動して参ります。

担当例会ではこれからの JC 活動や社業にもつながるよう、メンバー全員が「成長」できる例会と、未来を担う青少年に、普段の生活内では経験ができないような事業を開催できる事を目的とします。

どうか皆様のご指導、ご協力を賜りますよう 1 年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

2023年度 基本方針及び事業計画（案）

委員会名	総務広報 委員会	委員長 廣澤大士
<p>委員会基本方針</p> <p>1. 総務広報委員会では、「Grow for ideal」を合言葉に親睦を深めながらメンバーが一丸となることで、委員会枠を越え、新入会員10名を目標に連携した拡大活動を目指します。</p> <p>2. 財務処理・事務処理を適正かつ迅速に行う事により、メンバーのJC運動に対するサポートを目指します。LOMでの理事会運営の理解と適切な理事会運営を目指します。</p> <p>3. 総会を厳粛に行うため、しっかりとした設営や綿密な資料の作成を目指します。</p> <p>4. 55周年を迎えられたことに感謝しつつ、諸先輩方との信頼関係をさらに深めるためOB合同例会の開催を目指します。</p> <p>5. メンバーのモチベーションが向上する褒賞を目指します。</p> <p>6. 忘年例会・卒業式において卒業生の心に生涯残るような内容を目指します。また、メンバーの一年の活動を労い次年度がさらに盛り上がる様な例会の開催を目指します。</p> <p>7. 事業等のLOM活動を外部へ発信するため写真撮影を行いSNSへ掲載します。</p>		
事業計画		予 算 額
<p>1. 会員名簿の作成と配布 (内容) 通常総会資料に同封して郵送</p> <p>2. 通常総会の開催 (日時) 2023年1月23日(月) 20:00~21:00 (場所) 富田林市市民会館 大会議室 (内容) 2022年度事業報告の件及び2023年度事業計画(案)承認の件</p> <p>3. 8月度OB合同定例会 (日時) 2023年8月16日(水) 19:00~21:00 (場所) グランドホテル 二葉 (内容) 講師例会</p> <p>4. LOM内褒賞 (日時) 2023年12月6日(水) (場所) 逢喜の郷 (内容) LOM内褒賞(1年を通じて優秀な会員を表彰)</p> <p>5. 忘年例会・卒業式 (日時) 2023年12月6日(水) 19:00~21:00 (場所) 逢喜の郷 (内容) 忘年例会、懇親会、卒業式</p> <p>6. インスタグラムの更新</p> <p>7. JCカップ卒業記念サッカー大会への協力</p> <p>8. JC吹奏楽フェスティバルへの協力</p> <p>9. すばるキッズフェスティバルへの協力</p> <p>10. じゃがいもクラブへの協力</p> <p>11. 大阪ブロック協議会への協力</p> <p>12. 河内地域合同事業実行委員会への協力</p>		<p>18,490 円</p> <p>100,000 円</p> <p>29,000 円</p> <p>52,510 円</p> <p>合計 200,000 円</p>

2023年度 基本方針及び事業計画 (案)

委員会名	事業委員会	委員長	島田 晃一
委員会基本方針			
1.	事業委員会では、「Grow for ideal」を合言葉に親睦を深めながらメンバーが一丸となることで、委員会枠を越え、新入会員10名を目標に連携した拡大活動に協力します。		
2.	事業委員会では、JCI 日本公認プログラムを通じて、メンバーの成長に繋がる例会の開催を目指します。		
3.	事業委員会では、青少年育成事業として各行政諸団体と地域の方々と連携し、未来を担う青少年に経験を積める場を提供出来る例会の開催を目指します。		
4.	事業委員会では、例会の企画運営を新人メンバーが行う事で、組織を動かすことのできる人材への成長を目指します。		
事業計画		予 算 額	
1.	各委員会と連携した拡大活動		
2.	3月度定例会 (日時) 2023年3月16日(木) 19:00~21:20 (場所) 富田林納税協会ビル2階 (内容) 講師例会		30,000 円
3.	7月度定例会 (日時) 2023年7月23日(日) (場所) 未定 (内容) 公開例会		100,000 円
4.	11月度新人定例会 (日時) 2023年11月16日(木) 19:00~21:00 (場所) 富田林納税協会ビル2階 (内容) 講師例会		70,000 円
5.	インスタグラムの更新		
6.	JCカップ卒業記念サッカー大会への協力		
7.	JC吹奏楽フェスティバルへの協力		
8.	すばるキッズフェスティバルへの協力		
9.	じゃがいもクラブへの協力		
10.	大阪ブロック協議会への協力		
11.	河内地域合同事業実行委員会への協力		
12.	12月度忘年例会・卒業式への協力		
			200,000 円

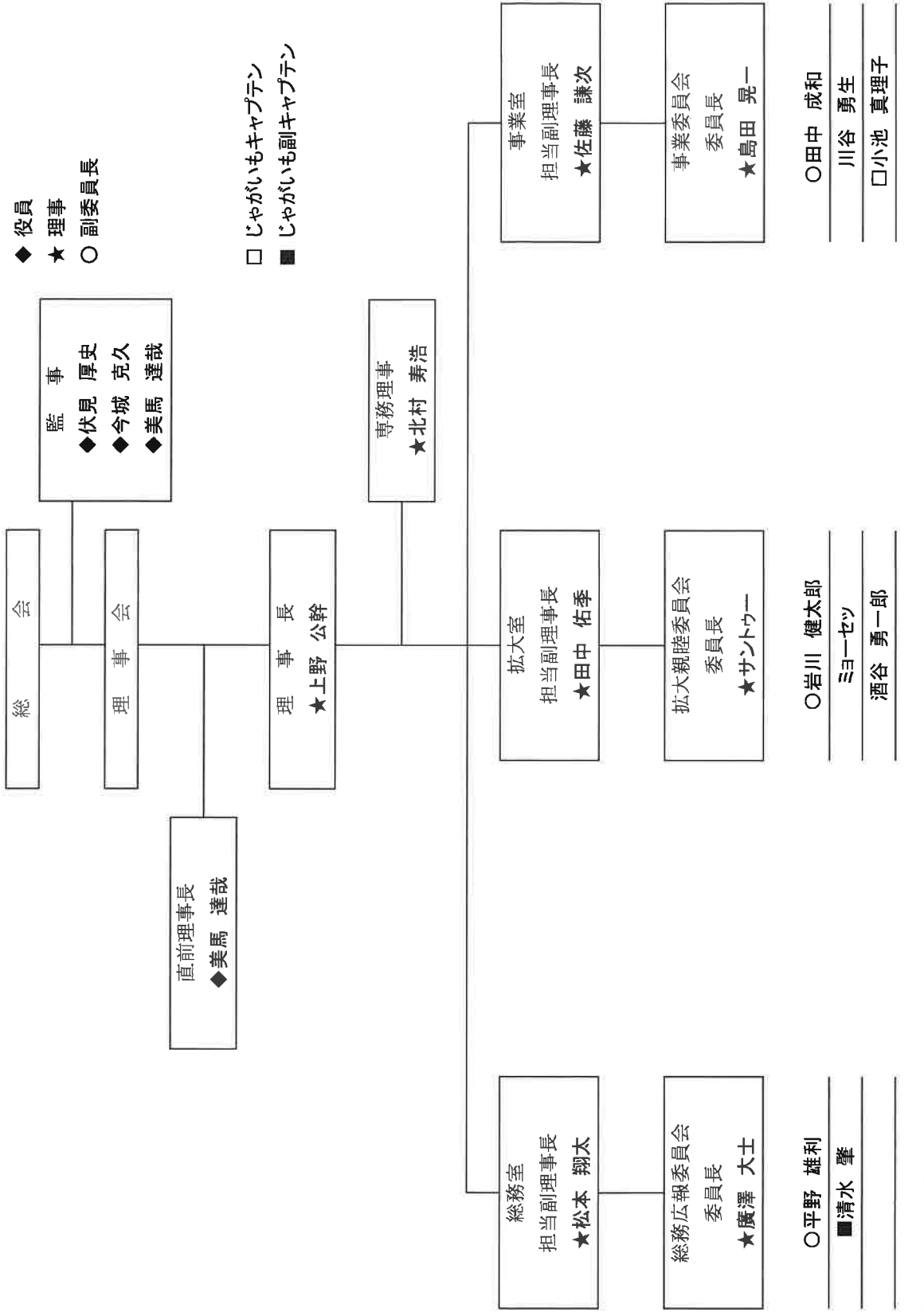
2023年度 収支予算 (案)

自2023年 1月 1日
至2023年 12月31日
(単位:円)

一般社団法人富田林青年会議所

科 目	予 算 額	備 考
I. 収入の部		
1. 会費等収入		
正会員会費収入	2,400,000	150,000× 15名 75000× 2名
新入会員会費収入		
新入会員入会金収入	200,000	20,000× 10名
特別会員入会金収入	0	100,000× 0名
2. 雑収入		
雑収入	100,000	
当期収入合計	2,700,000	
前期繰越収支差額	4,400,295	※2022年予算書よりの数字
収入合計	7,100,295	
II. 支出の部		
1. 負担金		
		※20名+10名
JCI会費	22,000	1,000× 22名 以下、新入会員数は半数とする
日本JC会費	140,000	5,000× 22名 +30,000(基本金)
国際協力資金	40,150	1,825× 22名
日本JC出向費	30,000	30,000× 1名
大阪ブロック会費	122,400	5,200× 22名 +8,000(基本金)
近畿地区会費	41,600	1,800× 22名 +2,000(基本金)
河内地域会費	40,000	30,000(事業費) 10,000(運営費(役員))
機関誌購読料	66,000	3,000× 22名
2. 事務管理費		
借室料	600,000	50,000×12ヶ月
給料	700,000	1ヶ月50,000として試算+残業代等100,000
電話通信費	300,000	
事務局光熱費	240,000	
事務用品費	400,000	
機器リース料	144,000	カラーコピー複合機年間契約12,000×12ヶ月
会議等借室料	20,000	
新入会員諸費	30,000	一人@3000×10
法定福利費	3,000	
雑費	250,000	
3. 渉外費	200,000	
4. 事業費		
理事長アワー	10,000	
副理事長アワー	0	
総務広報委員会	200,000	
拡大親睦委員会	250,000	
事業委員会	200,000	
ブース出展費	50,000	ブロック大会
JCカップ	30,000	
JC吹奏楽フェスティバル	50,000	
	790,000	
5. 積立金繰入額		
60周年積立金	0	
6. 予備費	200,000	
当期支出合計	4,379,150	
当期収支差額	△ 1,679,150	
次期繰越収支差額	2,721,145	

一般社団法人富田林青年会議所 2023年度組織図(案)



2023年度年間スケジュール(案)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
理事会	12(木)	8(水)	8(水)	5(水)	10(水)	7(水)	5(水)	9(水)	6(水)	4(水)	8(水)	15(金)
正副理事長会議	25(水)	21(火)	23(木)	25(火)	23(火)	20(火)	25(火)	23(水)	20(水)	24(火)	29(水)	
総会												
例会		副理事長アワー				理事長アワー						
総会/例会担当	総務		事業	河内地域	拡大親睦		事業	総務	河内地域	拡大親睦	事業	総務
総務広報委員会	通常総会							OB合同例会				忘年例会 卒業式・褒賞
事業委員会												
拡大親睦委員会									ブロック大会 ブース出展			
その他			大清棉JCカップサ				JC吹奏楽	すばるキッズ				じゃがいも
日本JC	1月 京都会議 1/19-1/22	2月	3月 通常総会	4月	5月 ASPAC (インドネシア/ジャカルタ) 5/10-5/13	6月	7月 サマーコンファレンス (横浜) 7/22-7/23	8月	9月	10月 全国大会 (東京) 10/6-10/8	11月 JCI世界会議 (スイス/チューリッヒ) 11/14-11/17	12月
近畿地区 大阪ブロック 協議会	合同出陣式 1/30						近畿地区大会 (兵庫・姫路)		ブロック大会 (豊中) 10/1			大納会
河内地域事業												
周年事業												

2 0 2 3 年 度 出 向 者 名 簿

「大阪ブロック協議会」

JC	未	来	創	造	委	員	会	V	C	岩	川	健	太	郎
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	川	谷	勇	生	
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	小	池	真	理	子
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	酒	谷	勇	一	郎
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	佐	藤	謙	次	
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	SAN		THOO		
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	清	水	肇		
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	田	中	佑	季	
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	平	野	雄	利	
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	廣	澤	大	士	
JC	未	来	創	造	委	員	会	委	員	松	本	翔	太	

富 田 林 市 献 血 推 進 協 議 会

廣 澤 大 士

特別会員

年度	氏名	年度	氏名
昭和49年度	池 側 光 夫	平成元年度	松 本 久 代
昭和51年度	山 本 宏	平成元年度	溝 川 猛
昭和51年度	吉 田 三 郎	平成元年度	向 井 耕 三
昭和53年度	豊 田 圭 郎	平成元年度	村 田 省 蔵
昭和55年度	田 毎 照 隆	平成2年度	浅 田 強
昭和55年度	松 本 昌 親	平成2年度	村 本 純 治
昭和56年度	柳 本 正 人	平成3年度	井 元 春 夫
昭和57年度	小 寺 博	平成4年度	古 川 元 一
昭和57年度	野 田 勝 英	平成4年度	喜 田 清
昭和58年度	乾 幸 一	平成5年度	浅 岡 善 彦
昭和58年度	井 上 繁	平成5年度	北 野 孝 志
昭和58年度	坂 口 圭 廣	平成5年度	山 口 一 雄
昭和59年度	恵 島 明	平成5年度	山 本 明 義
昭和60年度	浅 尾 治 伸	平成6年度	阿 部 友 亮
昭和60年度	西 野 圭 一	平成6年度	上 杉 仁 照
昭和61年度	松 本 昇 年	平成6年度	辻 野 亨
昭和61年度	田 中 正 敏	平成6年度	南 博 昭
昭和61年度	辻 隆 司	平成6年度	安 田 晴 彦
昭和62年度	井 関 醇 一	平成6年度	吉 田 豊
昭和62年度	尾 花 俊 彦	平成7年度	木 下 栄 二
昭和62年度	野 村 範 雄	平成7年度	巽 照 幸
昭和62年度	松 村 裕 介	平成7年度	中 野 覚
昭和62年度	村 田 俊 弘	平成8年度	井 上 正
昭和62年度	山 本 紘 嗣	平成8年度	北 野 義 彦
昭和63年度	道 田 憲 逸	平成8年度	武 部 克 正
昭和63年度	山 口 陽 生	平成8年度	野 村 佳 秀
平成元年度	木 下 佳 信	平成8年度	東 野 康 隆
平成元年度	清 水 杉 雄	平成8年度	藤 本 順 三
平成元年度	土 井 保	平成8年度	松 尾 憲 之
平成元年度	丹 羽 文 則	平成8年度	村 上 孝 男

特別会員

年度	氏名	年度	氏名
平成8年度	山崎規男	平成16年度	三浪成悟
平成9年度	川端伸幸	平成16年度	竹田和彦
平成9年度	田中義人	平成16年度	西端憲治
平成9年度	西田克也	平成16年度	藤本晴也
平成10年度	錦保光	平成16年度	吉村善美
平成11年度	榎廣誠賢	平成17年度	松田広宣
平成12年度	奥田辰造	平成18年度	大西康平
平成12年度	松田敏	平成18年度	谷孝郎
平成13年度	浅野展行	平成19年度	安田尚司
平成13年度	猪阪成宏	平成19年度	笠脇誠
平成13年度	上田真司	平成19年度	岩崎良太
平成13年度	平田雅嗣	平成20年度	東浦幸司
平成14年度	浅野晃久	平成21年度	安田雅樹
平成14年度	小寺啓道	平成21年度	辻本榮孝
平成14年度	住野滋俊	平成21年度	森貞夫
平成14年度	寺本裕亮	平成22年度	遠山幸男
平成14年度	中川寿也	平成22年度	今道晃
平成14年度	花岡秀行	平成22年度	千福許史
平成14年度	三浦忠良	平成22年度	田毎宣隆
平成14年度	山本茂樹	平成22年度	土橋正弥
平成15年度	浅岡幸晴	平成22年度	矢野祐一
平成15年度	京谷精久	平成22年度	柳本浩一
平成15年度	阪本洋史	平成22年度	高井祥行
平成15年度	古川雅章	平成23年度	辻元潤
平成15年度	光山基和	平成23年度	赤阪稔
平成15年度	米田佳司	平成23年度	東晃嗣
平成16年度	浅井黄更	平成23年度	藤村誠
平成16年度	川井貫也	平成24年度	中井統一
平成16年度	小池章	平成24年度	中尾幸也

特別会員

年度	氏名	年度	氏名
平成25年度	草尾恭弘	令和2年度	濱尚樹
平成25年度	三浪公嗣	令和2年度	今城克久
平成25年度	清水啓充	令和3年度	今城俊哉
平成25年度	松本公成	令和3年度	大谷健司
平成26年度	今西直樹	令和3年度	村瀬喜久一郎
平成26年度	錦昭宏		
平成26年度	溝端秀紀		
平成26年度	坂口貴浩		
平成26年度	南齊哲平		
平成27年度	安田元重		
平成27年度	塚本昇平		
平成27年度	田中伸幸		
平成27年度	壺井雅俊		
平成27年度	廣實建太		
平成27年度	萩原大介		
平成27年度	浅尾規代		
平成28年度	北岡義朗		
平成28年度	市川 豊		
平成28年度	武山友彦		
平成28年度	恵島久徳		
平成29年度	西野滋胤		
令和元年度	井関弘明		
令和元年度	中川雄輔		
令和元年度	山本裕紀子		
令和2年度	伏見厚史		
令和2年度	西田啓路		
令和2年度	松尾勸助		